

テーマ	総合原価計算（等級別総合原価計算）				
学籍番号	/	/	/	/	氏名

1. YIC製作所では、等級製品A、BおよびCを同一工程で連続生産し販売している。製品原価の計算方法としては、1ヶ月間の完成品の総合原価を、各等級製品の重量によって定められた等価係数に完成量を乗じた積数の比でもって各等級製品に按分する方法を採用している。下記の資料に基づいて、月末仕掛品原価とC製品の完成品単位原価を計算しなさい。なお、材料はすべて工程の始点で投入される。

〔資料〕

① 生産・販売実績データ

月初仕掛品	0個
月末仕掛品	1,000個（加工進捗度 0.5）
当月完成量	20,000個 （内訳：A製品 3,000個、B製品 5,000個、C製品 12,000個）
当月販売量	20,100個 （内訳：A製品 2,500個、B製品 5,000個、C製品 12,600個）

② 原価データ

当月製造費用：	材料費	6,105,750円
	加工費	8,261,500円

③ 等価係数

A製品	1	B製品	0.7	C製品	0.5
-----	---	-----	-----	-----	-----

④ 実際販売単価

A製品	1,500円/個	B製品	1,000円/個	C製品	800円/個
-----	----------	-----	----------	-----	--------

⑤ その他

加工費配賦差異 112,000円（借方差異）については、全額を原価差異として当月の売上原価に賦課する。

月末仕掛品原価	492,250円
C製品の完成品単位原価	555円/個

授業の感想など	
---------	--

テーマ	総合原価計算（等級別総合原価計算）				
学籍番号	/	/	/	/	氏名

2. 当工場では、等級品 A および B を生産し、等級別総合原価計算により製品原価を計算している。次の資料に基づき、各等級品の完成品原価、完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。

【資料】

① 当月の生産データ

製 品 A		製 品 B	
月初仕掛品	400個 (30%)	月初仕掛品	280個 (70%)
当月投入	2,320個	当月投入	1,680個
合計	2,720個	合計	1,960個
正常仕損	240個 (60%)	正常仕損	160個 (60%)
月末仕掛品	480個 (70%)	月末仕掛品	360個 (50%)
完成品	<u>2,000個</u>	完成品	<u>1,440個</u>

② 当月の原価データ

	製 品 A	製 品 B
月初仕掛品原価		
材料費	¥2,810,400	¥1,108,800
加工費	¥580,800	¥869,800
当月投入原価		
材料費	¥20,800,000	
加工費	¥17,880,000	

※ 月末仕掛品原価の計算は、平均法による。

※ 正常仕損費の処理は進捗度を加味した度外視法による。なお、仕損品の評価額はゼロとする。

③ 等価係数に関する資料

	製 品 A	製 品 B
材料費	1	0.6
加工費	1	0.8

※ 等価係数は原価要素別に上記のように設定している。なお、等級別計算は等価係数を用いて当期投入原価を各等級品に配分し、等級品ごとに完成品原価を計算する方法（組別総合原価計算に近い方法）による。

	完 成 品 原 価	完 成 品 単 位 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価
製 品 A	24,560,000 円	12,280 円	5,131,200 円
製 品 B	12,268,800 円	8,520 円	2,089,800 円

授業の感想など	
---------	--